

関西医科大学 整形外科専門研修プログラム

目次

1. 関西医科大学 整形外科専門医研修の理念と使命
2. 関西医科大学 整形外科専門医研修の特徴
3. 関西医科大学 整形外科専門医研修の目標
4. 関西医科大学 整形外科専門医研修の方法
 - 4-1 基本方針
 - 4-2 研修計画
 - (1) 専門知識・技能の習得計画
 - (2) 経験目標
 - (3) 専門研修プログラム全体でのカンファレンス
 - (4) リサーチマインドの育成と学会活動に関する指導体制
 - (5) コアコンピテンシーの研修（医療倫理、医療安全、院内感染対策など）
 - (6) 地域医療に関する研修
 - (7) サブスペシャリティ領域への連続性と研修後の進路
 - 4-3 研修およびプログラムの評価計画
 - (1) 専攻医の評価時期と方法
 - (2) 専門研修プログラム管理委員の運用計画
 - (3) プログラムとしてのFD(Faculty Development)の計画
 - (4) 専門研修プログラムの改善方法
 - 4-4 専攻医の就業環境の整備
 - 4-5 専門研修プログラムの休止、中断、プログラム外研修の条件
 - 4-6 修了要件
5. 研修スケジュールと研修ローテーション
 - 5-1 附属病院の週間スケジュールと指導医・上級医
 - 5-2 連携施設群と研修ローテーション
6. 専門研修プログラムを支える体制
 - (1) 専門研修プログラムの管理運営体制
 - (2) 基幹施設の役割
 - (3) 研修指導医
 - (4) プログラム管理委員会の役割と権限
 - (5) プログラム統括責任者の役割と権限
 - (6) 労働環境、労働安全、勤務条件
7. 募集人数と応募方法、病院見学の申し込みについて

1. 関西医科大学整形外科専門医研修の理念と使命

整形外科専門医は生活習慣や災害、スポーツ活動によって発生する運動器疾患と障害の発生を予防と診療に関する能力を備える必要があります。また、社会が求める活動によって発生する医療を提供し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献する使命があります。整形外科に限らず、専門医として社会に公認される立場の医師に求められることは多くあります。専門的知識と技量を持っていることは当然の要求ですが、それ以前に正しい医療哲学を持つことであると、我々関西医科大学の指導層は信じております。医師を標榜する限り様々な状況に遭遇し対応を迫られます。指導層がそれに対して真摯かつ適切な対応をすることを通じて研修中の医師がそれを見習い身に付けるという事実は、その経験を持つものには十分理解できることです、今後の専門医教育にもこれを継続し続けます。一方、関西医科大学は附属3病院を擁し、後に示しますように各々専門性と特色のある診療を展開しております。ここで研修することは高い医療技術を学べること、豊富な症例を経験できることであり、救急医療、外傷から慢性疾患まで幅広い整形外科医療を身に付けた上で関連病院においてその実践ができます。我々は高いレベルの整形外科専門医を養成する体制を整えており、それが使命であると自負しております。

2. 関西医科大学整形外科専門医研修の特徴

関西医科大学附属病院、関西医科大学総合医療センター、関西医科大学香里病院の3病院で役割分担をすることによって、より専門的かつスケールの大きい整形外科専門施設となっています。また、我々のグループでは各分野の専門医を揃えており、整形外科専門医修得に必要な各分野の症例を豊富に経験することができます。上級医の熱心な指導のもと、専攻医も積極的に治療にたずさわっていくため、整形外科専門医を目指す第一歩の病院として適していると考えています。

関西医大附属3病院の主な専門領域

【関西医科大学附属病院（関西医大病院）】

平成29年4月から新しく整形外科学講座教授に就任した齋藤貴徳教授を中心に、顕微鏡視下低侵襲手術やインストゥルメントを使った脊椎間固定術などの脊椎外科手術を多数行っています。特に、他施設ではあまり扱わない脊椎変性側弯症に対して、小侵襲椎体間固定を行っています。脊椎手術に際しては脊髓機能モニタリングを他施設に先駆けて実施しており、先進的な内視鏡や顕微鏡手術を安全かつ確実に行っております。この他、高齢者における椎体骨折に対してもセメントを用いた椎体形成術を盛んに行っています。

股関節疾患では変形性股関節症のみならず、他施設では治療が困難な感染症例などに対しても人工股関節を用いて治療を行っています。さらに、股関節鏡を用いた、関節再建にも取り組んでいます。膝関節疾患はスポーツ外傷などに対して、鏡視下半月板手術、靱帯再建手術を行っています。変性疾患に対して、人工関節や脛骨骨切り術を行っています。関西医大病院には関西医大高度救命救急センターがあり、我々整形外科スタッフは救命センターに搬送された脊椎損傷や重度四肢外傷の治療を行っています。

関西医大病院は日本脊椎脊髄病学会研修認定病院、日本リウマチ学会研修認定病院であり、サブスペシャリティである日本脊椎脊髄病学会指導医や日本リウマチ学会専門医の研修を受けることができます。

【関西医科大学総合医療センター（関西医大総合医療センター）】

平成29年4月から関西医科大学人工関節センターが開設されました。人工股関節手術や人工膝関節手術を多数行っています。また、関西医大総合医療センターは三次救急病院となっており、整形外科スタッフは救命センターに搬送された脊椎損傷や重度四肢外傷の治療にもあたっています。

附属滝井病院は日本脊椎脊髄病学会研修認定病院と日本リウマチ学会研修認定病院であり、サブスペシャリティである日本脊椎脊髄病学会指導医や日本リウマチ学会専門医の研修を受けることができます。

【関西医科大学香里病院（香里病院）】

一般外傷や、人工膝関節や関節鏡手術などを行っています。また、関節リウマチによる関節外科手術を数多く行っています。

3. 関西医科大学整形外科専門医研修の目標

整形外科学は、運動器の機能と形態の維持・再建を目指す領域であり、脊椎、上肢、下肢などの幅広い領域を扱います。関西医科大学整形外科専門医研修プログラムでは、あらゆる運動器に関する科学的知識と社会的倫理観を備え、新しい知識と技能を習得できるような、基本的な臨床能力を身に着けた整形外科専門を目標とします。

研修全般の目標
・患者の接し方に配慮し、患者や医療関係者とのコミュニケーション能力を磨くこと。 ・医師として自立し、周囲から信頼されること。 ・適確な診療記録作成ができること。 ・医の倫理や医療安全に配慮し、患者中心の医療を実践できること。 ・臨床を通して、基礎医学や臨床医学の知識や技術を習得すること。 ・後輩への教育・指導を行うこと。

4. 関西医科大学整形外科専門研修の方法

4-1 基本方針

日本整形外科学会の整形外科専門研修プログラム整備基準ならびに付属資料に沿って、関西医大病院および連携施設群において研修を行います。専門知識習得と技能習得の年次毎の到達目標は「整形外科専門研修プログラム整備基準 付属資料1：専門知識習得の年次毎の到達目標と付属資料2：専門技能習得の年次毎の到達目標」を参照して下さい。

研修実績の記録と評価には、「日本整形外科学会整形外科専門医管理システム」を用います。専攻医は、各研修領域終了時および連携施設移動時に日本整形外科学会が作成したカリキュラム成績表の自己評価欄に行動目標毎の自己評価を行います。指導医は、専攻医が行動目標の自己評価を終えた後にカリキュラム成績表の指導欄に専攻医の行動目標達成度を評価します。指導医はカンファレンスの際に専攻医に対してフィードバックを行います。

研修実績と評価をもとに、専門研修最終年度の3月に専門研修プログラム管理委員会において、専門研修修了判定を行います。判断基準は下記に示す、【4-6 修了要件】に定めるとおりです。

このプログラムおよび専門研修プログラム委員会はサイトビジットを含む第3者の評価・指導を受けます。また、その際にプログラム統括責任者、連携施設指導管理責任者、指導医ならびに専攻医は真摯に対応します。

整形外科専門研修プログラム整備基準
日本整形外科学会ホームページ https://www.joa.or.jp/jp/edu/index.html)
付属資料1：専門知識習得の年次毎の到達目標
付属資料2：専門技能習得の年次毎の到達目標
付属資料3：整形外科専門研修カリキュラム
付属資料4：整形外科専攻医が経験すべき症例数の根拠
付属資料5：研修スケジュール
付属資料6：研修方略
付属資料7：カリキュラム成績表
付属資料8：指導医評価表（専攻医用）
付属資料9：専攻医獲得単位報告書
付属資料10：整形外科専攻医評価表
付属資料11：プログラム施設基準と研修プログラム群の概念図
付属資料12：整形外科指導医マニュアル
付属資料13：整形外科専攻医研修マニュアル

4-2 研修計画

整形外科の研修で経験すべき疾患・病態は、骨、軟骨、筋、靱帯、神経などの運動器官を形成するすべての組織・外傷・加齢変性です。また、新生児、小児、学童から成人、高齢者まで全ての年齢層が対象となり、その内容は多様です。整形外科専門研修は1ヵ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマ

ち、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携施設をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位以上を修得し、3年9ヵ月で45単位を修得します。

研修単位		
脊椎6単位	上肢・手6単位	下肢6単位
外傷6単位	リウマチ3単位	リハビリテーション3単位
スポーツ3単位	地域医療3単位	小児3単位
腫瘍3単位	流動3単位	

(1) 専門知識・技能の習得計画

本研修プログラムでは、専門知識を「整形外科専門研修プログラム整備基準 付属資料3：整形外科専門研修カリキュラム」に沿って研修します。附属病院では週1回の抄読会や各グループでの勉強会があり、専門知識の習得に力をいれています。また、リハビリ科医師や理学療法士などとの症例検討会を行っています。知識の習得状況は6ヵ月毎に、自己評価ならびに指導医評価によって評価します。専門研修プログラム委員会またはプログラム統括責任者による専攻医面接を年1回行い、評価したデーターから、指導を行います。専攻医の獲得できていない知識については教育セミナーにおいて、教育・指導を行います。

専門知識習得の主な講習会
関西医科大学整形外科春季セミナー、 関西医科大学整形外科秋季セミナー、 枚方手術手技セミナー（年2回）、 枚方人工股関節置換術セミナー、 枚方人工股関節再置換術セミナー、 関西医科大学脊椎グループ研究会（年2回）、 関西医科大学筋電図セミナーなど

(2) 経験目標

経験すべき疾患・病態、診察・検査など、手術処置などは、「整形外科専門研修プログラム整備基準 付属資料3：整形外科カリキュラム」に明示された症例数以上を関西医大病院ならびに連携施設で偏りがないように経験することができます。

(3) 専門研修プログラム全体でのカンファレンス

各施設の研修委員会の計画のもと、症例検討会は各々の連携施設で行います。専門研修プログラム全体として、専門研修プログラム委員会が知識・技能習得のためセミナー企画・開催します。この際、連携施設の症例もあわせて検討します。

(4) リサーチマインドの育成と学会活動に関する指導体制

全ての専攻医が自らの症例を用いて、年に1回以上発表する機会をつくります。関西医大病院では専攻医全員にインターネットのアドレスを配布し、大学のサーバーを通じて、医学中央雑誌やPubMedなどの文献検索が可能です。また、附属図書館を利用することができます。また、専攻医が論文執筆を4年間で1本以上行えるように指導します。研究や学会活動指導は各施設群の指導医が行いますが、特に、関西医大病院を研修の1年以内には発表から論文作成までのノウハウを指導します。専門研修プログラム管理委員会は全専攻医の学会発表数および論文執筆数を年1回集計し、面接時に指導・助言を行います。

専攻医が発表する主な学会・研究会
日本整形外科学会、 中部日本整形外科災害外科学会、 整形外科集談会京阪神地方会、 脊椎外科を学ぶ会、 関西医科大学整形外科春季セミナー、 関西医科大学整形外科秋季セミナー、 関西医科大学脊椎グループ研究会など

(5) コアコンピテンシーの研修（医療倫理、医療安全、院内感染対策など）

整形外科専門医として臨床能力（コンピテンシー）には、専門知識・技能だけではなく、医師としての基本的診療能力（コアコンピテンシー）が重要です。どの領域から研修を開始しても基本的診療能力を身につけさせることを重視しながら、指導します。さらに、専攻医評価表を用いてフィードバックをすることによって基本的診療能力を早期に獲得させます。関西医大病院および各連携施設の医療倫理・医療安全講習会に参加し、参加状況を年1回専門研修プログラム管理委員会に報告します。

(6) 地域医療に関する研修

本専門研修プログラムの研修施設群は大阪北河内地域に拠点をしていますが、滋賀県や京都府など地方の研修病院も含まれています。これらの病院とは長年にわたり人事交流があり、他府県での整形外科診療や病診連携などを研修することを目的としています。また、地域に密着した中規模研修病院も含まれており、幅広く地域医療を研修することができます。

(7) サブスペシャリティ領域への連続性と研修後の進路

整形外科専門医のサブスペシャリティとして、日本脊椎脊髄病学会指導医、日本手の外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リハビリテーション学会認定医、日本臨床神経生理学会技術認定医などがあります。関西医大病院または連携病院にはサブスペシャリティ領域の研修を行う施設が含まれています。整形外科専門研修期間から専門性を高める研修を行うことができます。

専門研修期間が終了すると、各自の希望に沿った進路設定が可能です。関西医科大学整

形外科には、課博コース（大学院に入学し、4年間の間に基礎研究から論文作成に至るまで、じっくりと学ぶことができます。）や、論博コース（臨床の技術を維持しながら、学位を修得することができます。）があります。

4-3 研修およびプログラムの評価計画

(1) 専攻医の評価時期と方法

専攻医及び指導医は研修記録による研修実績評価を6ヵ月に1回行い、専門研修プログラム管理委員会に提出します。専攻医は専門研修プログラムの取得単位、学会発表・論文執筆、教育研修講演受講状況を年度末に専門研修プログラム委員会に提出し、研修プログラム管理委員会で評価します。

(2) 専門研修プログラム管理委員の運用計画

専門研修プログラム管理委員会はプログラム統括責任者を委員長とし、各連携施設の専門研修指導者を委員とします。事務局は関西医科大学病院に置き、専門研修管理に係る事務を行います。

専門研修プログラム管理委員会は年3回開催します（3月、6月、12月）。12月に専攻医4年次の「修了判定委員会」を開催します。必要に応じ、臨時委員会を開催します。専門研修プログラム管理委員会の活動報告は関西医科大学整形外科秋季セミナー（同門会総会；10月開催）で報告します。

(3) プログラムとしてのFD(Faculty Development)の計画

指導医は「整形外科専門研修プログラム整備基準 付属資料12:整形外科指導マニュアル」に従って専攻医を指導します。厚生労働省および日本整形外科学会主催の指導医講習会に参加し、その参加状況を年1回専門研修プログラム委員会に報告します。

(4) 専門研修プログラムの改善方法

専門研修プログラム委員会で年1回検討し、必要に応じてプログラム改訂を行います。

4-4 専攻医の就業環境の整備（労務管理）

専門研修プログラム管理委員会は、専攻医に対するアンケートや面接で、各施設の就業環境を調査します。就業環境に改善が必要であると判断した場合は、当該施設の施設長、専門研修指導責任者に文書で通達・指導します。

4-5 専門研修プログラムの休止、中断、プログラム外研修の条件

傷病、妊娠、出産、育児、その他のやむを得ない理由がある場合の休止期間は合計6ヵ月以内とします。限度を超えたときは、原則として少なくとも不足期間分を追加履修することになります。疾病の場合は診断書の、妊娠・出産の場合はそれを証明するものの添付が必要です。留学、診療実績のない大学院の期間は研修期間に組み込むことは出来ません。また、研修の休止期間が6ヵ月を超えた場合は、専門医取得のための専門医試験が1年間遅れる場合もあります。専門研修プログラムの移動に際しては、移動前・後のプログラム統括責任者および専門研修プログラム管理委員会の同意が必要です。

4-6 修了要件

- (1) 各修得すべき領域分野に求められている必修単位をすべて満たしていること。
- (2) 行動目標のすべての必修項目について目標を達成していること。
- (3) 臨床医として十分な適性が備わっていること。
- (4) 研修期間中に日本整形外科学会が主催または認定する教育研修期間を受講し、所定の手続きにより30単位を修得していること。
- (5) 1回以上の学会発表、また筆頭著者として1編以上の論文があること。

以上(1)～(5)の修了認定基準をもとに、専攻研修4年目の12月（研修期間3年9ヵ月）に研修プログラム委員会において修了判定を行います。

5. 研修スケジュール、研修ローテーション、専門研修施設、指導医

5-1 附属病院の週間スケジュールと指導医・上級医

関西医大病院では「整形外科専門研修プログラム整備基準 付属資料3:整形外科専門研修カリキュラム」にあるすべての分野を研修することができます。大阪府北河内地区の中核病院として、豊富な症例を経験しながら、専門分野ごとの症例検討会や抄読会などより専門的な知識・技能を指導します。

【関西医大病院の週間スケジュール】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM8:00～AM9:00 退院カンファレンス 症例検討	AM7:40～AM9:00 術前カンファレンス 症例検討		AM7:40～AM9:00 病棟回診 リハビリ担当参加	AM8:00～AM9:00 抄読会
AM9:00～PM5:00 外来・手術	AM9:00～PM5:00 外来・手術 ミエログラフィー	AM9:00～PM5:00 外来・手術	AM9:00～PM5:00 外来・手術	AM9:00～PM5:00 外来・手術

【関西医大病院の指導医・上級医】

役職	氏名	専門分野
教授（診療部長）	齋藤貴徳	脊椎外科・電気整理（筋電図）
准教授	串田剛俊	脊椎外科・関節リウマチ
准教授	谷口慎一郎	脊椎外科・電気整理（筋電図）
講師	真 賢一	股関節・股関節鏡・膝関節
診療講師	大野博史	膝関節・スポーツ整形
助教	村田 実	膝関節・スポーツ整形
助教	池浦 淳	脊椎外科
助教	中村知寿	股関節
助教	足立 崇	脊椎外科
助教	植田成実	股関節・重度外傷
助教	矢倉拓磨	高次救急・重度外傷

【関西医科大学総合医療センターの週間スケジュール】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM8:00～AM9:00 退院カンファレンス 症例検討	AM7:30～AM9:00 病棟回診	AM7:40～AM9:00 術前カンファレンス 症例検討	AM8:00～AM9:00 病棟回診	AM8:00～AM9:00 抄読会
AM9:00～PM5:00 外来・手術	AM9:00～PM5:00 外来 ミエログラフィー	AM9:00～PM5:00 外来・手術	AM9:00～PM5:00 外来 ミエログラフィー	AM9:00～PM5:00 外来・手術

【関西医大総合医療センターの指導医・上級医】

役職	氏名	専門分野
准教授	徳永裕彦	股関節・膝関節
講師	松矢浩暉	股関節・膝関節
助教	市川宣弘	膝関節・関節リウマチ
助教	石原昌幸	脊椎外科
助教	吉川尚孝	膝関節・関節リウマチ
助教	谷 陽一	脊椎外科
助教	朴 正旭	脊椎外科

【香里病院の週間スケジュール】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM8:00～AM9:00 退院カンファレンス 症例検討			AM8:00～AM9:00 病棟回診	AM8:00～AM9:00 リハビリカンファ レンス
AM9:00～PM5:00 外来・手術	AM9:00～PM5:00 外来	AM9:00～PM5:00 外来・手術 PM5:00～PM6:00 症例検討	AM9:00～PM5:00 外来 ミエログラフィー	AM9:00～PM5:00 外来・手術

【香里病院の指導医・上級医】

役職	氏名	専門分野
講師	上田祐輔	股関節・足関節・関節リウマチ
助教	玉井辰弥	膝関節・外傷
助教	木下理一郎	手の外科・外傷

5-2 連携施設群と研修ローテーション

本プログラムは関西医大病院を基幹病院とし、連携施設は14施設あり、関西医大総合医療センター、関西医大香里病院の他、博愛会博愛茨木病院、地域医療機能推進機構滋賀病院、マックスール異病院、弘道会萱島生野病院、明生会明生病院、みどり会中村病院、清翠会牧病院、垣谷会明治橋病院、済生会泉尾病院、穀峰会吉田病院、大慶会星光病院、有恵会香里ヶ丘有恵会病院があります。

整形外科診療の現場における研修方法の要点については、「整形外科専門研修プログラム整備基準 付属資料13:整形外科専攻医研修マニュアル」を参考にしてください。

I：研修病院群と指導可能な領域

医療機関	指導可能な研修域										専攻医入れ 可能人数
	a 脊 椎	b 上 肢	c 下 肢	d 外 傷	e リ ウ マ チ	f リ ハ ビ リ	g ス ポ ー ツ	h 地 域 医 療	i 小 児	j 腫 瘍	
関西医大病院	●	●	●	●	●	●	●		●	●	7
関西医大 総合医療センター	●	●	●	●	●	●	●		●	●	10
関西医大香里病院		●			●		●				5
博愛茨木病院			●	●				●			1
異病院		●		●		●					2
萱島生野病院				●		●		●			2
明生病院		●	●	●							2
中村病院			●	●	●	●	●	●			1
牧病院			●	●			●				2
明治橋病院			●	●				●			2
泉尾病院		●	●	●							2
吉田病院		●		●				●			1
星光病院		●		●				●			1
香里ヶ丘有恵会病院	●	●	●	●	●			●			1

研修分野
a. 脊椎、b. 上肢・手、c. 下肢、d. 外傷、e. リウマチ、 f. リハビリ、g. スポーツ、h. 地域医療、i. 小児、j. 腫瘍

Ⅱ：研修病院ローテーション表

医療機関	1 年目前半	1 年目後半	2 年目	3 年目	4 年目
関西医大病院	専攻医 1-5	専攻医 6-10			
関西医大 総合医療センター	専攻医 6-10	専攻医 1-5			
関西医大香里病院			専攻医 1-3, 6-7	専攻医 4-5, 8-10	
博愛茨木病院				専攻医 6	専攻医 7
巽病院				専攻医 7	
萱島生野病院					専攻医 8
明生病院					専攻医 9
中村病院					専攻医 10
牧病院			専攻医 4	専攻医 1	専攻医 6
明治橋病院			専攻医 5	専攻医 2	専攻医 1
泉尾病院			専攻医 8	専攻医 3	専攻医 2
吉田病院					専攻医 3
星光病院			専攻医 9		専攻医 4
香里ヶ丘有恵会病院			専攻医 10		専攻医 5

Ⅲ：専攻医別取得単位

	1 年目 前半	1 年目 後半	2 年目	3 年目	4 年目 (9 カ月)	取得単位合計 45 単位の内訳
専攻医 1	a3, b3, f3	a3, i3, j3	b3, e3, g3	c3, d3, g3	c3, d3, h3	a6, b6, c6, d6, e3, f3, g6, h3, i3, j3
専攻医 2	a3, c3, f3	a3, i3, j3	b3, e3, g3	c3, d3, h3	b3, c3, d3	a6, b6, c9, d6, e3, f3, g3, h3, i3, j3
専攻医 3	a3, c3, f3	a3, i3, j3	b3, e3, g3	b3, c3, d3	b3, d3, h3	a6, b9, c6, d6, e3, f3, g3, h3, i3, j3
専攻医 4	a3, c3, f3	a3, i3, j3	c3, d3, g3	b3, e3, g3	b3, d3, h3	a6, b6, c6, d6, e3, f3, g6, h3, i3, j3
専攻医 5	a3, c3, f3	b3, i3, j3	c3, d3, h3	b3, e3, g3	a3, d3, h3	a6, b6, c6, d6, e3, f3, g3, h6, i3, j3
専攻医 6	a3, b3, c3,	a3, f3, j3	b3, e3, g3	c3, d3, h3	d3, h3, i3	a6, b6, c6, d6, e3, f3, g3, h6, i3, j3
専攻医 7	a6, c3, i3	a3, c3, j3	b3, e3, g3	d3, h3, i3	b3, d3, f3	a9, b6, c6, d6, e3, f3, g3, h3, i3, j3
専攻医 8	a3, c3, d3	a3, i3, j3	b3, c3, d3	b3, e3, g3	b3, f3, h3	a6, b9, c6, d6, e3, f3, g3, h6, i3, j3
専攻医 9	a3, g3, f3	a3, i3, j3	c3, d3, h3	b3, e3, g3	b3, c3, d3	a6, b6, c6, d6, e3, f3, g6, h3, i3, j3
専攻医 10	a3, b3, f3	a3, c3, d3, j3	d3, h3, i3	b3, e3, g3	c3, d3, h3	a6, b6, c6, d6, e3, f3, g3, h6, i3, j3

研修単位		
脊椎6単位	上肢・手6単位	下肢6単位
外傷6単位	リウマチ3単位	リハビリテーション3単位
スポーツ3単位	地域医療3単位	小児3単位
腫瘍3単位	流動3単位	

6. 専門研修プログラムを支える体制

(1) 専門研修プログラムの管理体制

基幹施設である関西医大病院では、指導管理責任者（プログラム統括責任者を兼務）および指導医の協力により、専攻医の評価ができる体制を整備しています。専門研修プログラムの管理には日本整形外科学会が作成した指導医評価表や専攻医評価表などを用いた評価システムにより、専門研修プログラムの改善を行います。

上記目標達成のために関西医大病院に専門研修プログラムと専攻医を統括的に管理する専門研修プログラム管理委員会を設置します。専門研修プログラム管理委員会は基幹施設とすべての連携施設の管理責任者から構成されます。専門研修プログラム管理委員会には、1名のプログラム統括責任者を置きます。また、このプログラムでは20名以上の専攻医を有することから副プログラム統括責任者を1名置き、副プログラム統括責任者はプログラム統括責任者を補佐します。

(2) 基幹施設の役割

基幹施設である関西医大病院は専門研修プログラムを管理し、専門研修プログラムに参加する専攻医および連携施設を統括します。関西医大病院は研修環境を整備し、専攻医が整形外科の幅広い研修領域が研修でき、研修終了時に取得すべき領域の単位をすべて習得できるような専門研修施設群を形成します。専門研修プログラム管理委員会を中心として、専攻医と関連施設を統括し、専門研修プログラムの管理を行います。

(3) 専門研修指導医

指導医は専門研修認定施設に勤務し、整形外科専門医の資格を1回以上更新し、なおかつ日本整形外科学会が開催する指導医講習会を5年に1回以上受講している整形外科専門医であり、本専門研修プログラムの指導医は上記の基準を満たしている専門医です。指導医は「整形外科専門研修プログラム整備基準 付属資料12:整形外科指導マニュアル」に従って専攻医を指導します。

(4) プログラム管理委員会の役割と権限

- 1) 専門研修プログラム管理委員会は、研修プログラムの作成や研修プログラムの調整、専攻医の管理および専攻医の採用・中断・終了の際の評価など、専門医研修の統括管理を行います。
- 2) 専門研修プログラム管理委員会は研修の評価および認定において、年に3回（3月、6月と12月）、または必要に応じて指導医から各専攻医の研修進捗状況について、情報提供を受けます。この連絡会議において、各専攻医の研修進捗状況を把握、評価し、修了基準に不足している部分について研修が行えるように、整形外科研修プログラム統括責任者や指導医に指導・助言します。
- 3) 専門研修プログラム管理委員会は、専攻医が研修を継続することが困難であると認める場合には、当該専攻医がそれまでに受けた専門医研修に係る当該専攻医の評価を行います。その結果、管理者に対し、当該専攻医の専門研修を中断することを勧告することができます。
- 4) 専門研修プログラム委員会は、専攻医の研修期間の終了に際し、専門医研修に関する

当該専攻医の評価を行う、管理者に対し当該専攻医の評価を報告します。

- 5) 専門研修プログラム管理委員会の責任者であるプログラム統括責任者が、専門研修プログラム管理委員会における評価に基づいて、専攻医の最終的な研修修了判定を行います。
- 6) 関西医大病院は連携施設とともに研修施設群を形成します。関西医大病院に置かれたプログラム統括責任者は、総括的評価を行い、修了判定を行います。また、プログラムの改善を行います。

(5) プログラム統括責任者の役割と権限

- 1) 専門研修基幹施設である関西医大病院における専門研修プログラム委員会の責任者であり、専門研修プログラムの作成、運営、管理を担います。
- 2) 専門研修プログラムの管理・遂行や専攻医の採用・修了判定につき最終責任を負います。

(6) 労働環境、労働安全、勤務条件

関西医大病院や各研修連携施設の病院規定によりますが、労働環境、労働安全、勤務条件などへ以下に示す拝領をします。

- 1) 研修施設の責任者は専攻医のために適切な労働環境の整備に努めます。
- 2) 研修施設の責任者は専攻医の心身の健康維持に配慮します。
- 3) 過剰な時間外勤務を命じないようにします。
- 4) 施設の給与体系を明示します。

7. 募集人数と応募方法、病院見学の申し込みについて

(1) 応募資格

初期臨床研修修了見込みの医師であること。

(2) 必要書類

- 1) 履歴書
- 2) 医師免許証（コピー）
- 3) 医師臨床研修修了登録証（コピー）
- 4) 健康診断書

応募ならびに病院見学は随時、受け付けています。
詳しくは下記までご連絡ください。

連絡先

〒573-1010

大阪府枚方市新町2丁目5番1号

関西医科大学整形外科

E-mail: seikei@hirakata.kmu.ac.jp

TEL: 072-804-0101

FAX: 072-804-2064